

農林だより 令和3年度5月号



長野県下高井農林高等学校 TEL 0269-82-3115 (代)

ホットな情報は、QRコードから

春のキャリアweek (5/24~25) : 1年次から体系的に進路指導!!

本校では毎年、春と秋に計5日間、進路学習を集中して行っています。この体験がもとになり、「進路に強い農林生」に育っていくのです。以下に今回の主な学びを紹介します。

1年生：社会の担い手になるために大切な事柄、企業が求めている力について学ぶとともに、自分を知る

初日に、高校における進路学習の第1歩として、社会の担い手となるために考えなければならない大切な事柄を、信州大学准教授内川義行先生からお聞きしました。翌日は、「高校卒業後の進路と高校生活の送り方」について進路指導支援企業の方から、「高校卒業後の進路と高校生活の送り方」について講演いただきました。その後のワークショップでは、グループで「ペーパータワー」「お仕事マップ」に取組み、生徒はチームワークの重要性やコミュニケーション力の必要性を学んでいました。

進学してもいずれ就職します。その際、企業が求める力は「①コミュニケーション力、②基礎学力、③責任感、④積極性、⑤行動力・実行力」の順であることをこの2日間で学びました。自分のできることとできていないことに一早く気づき、身に付けていけるよう、意識して毎日過ごさなければいけないことを痛感し、進路実現に向けてスタートしました。



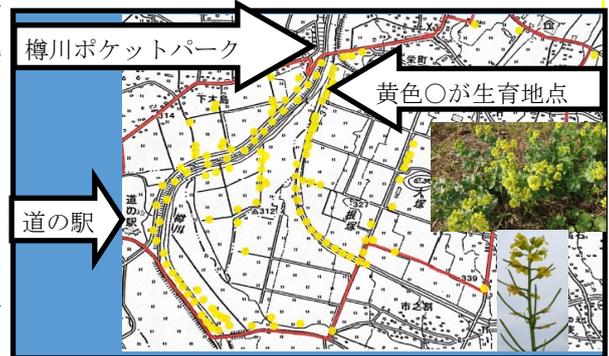
信大内川先生の講演

ペーパータワー

2年生：要注意外来植物「ハルザキヤマガラシ」の植生マップ作りと駆除活動

木島平村の樽川沿いを主な調査地点とし、まずはどの程度群生しているのか歩いて確認し、そのデータをもとにして植生マップを作りました。その翌日には、村役場の方の立会いの下で駆除活動(抜取り)を行い、その量は2トン車1台ほどにもなり、処分については外来生物法に従って村に焼却してもらいました。

今回の学びにより、「植生マップを作成し、生育範囲を見える化し、駆除の必要性を行政に提言」「駆除活動により、岳北地域の生態系の保護に寄与」することができました。そして何より、生徒は仲間と協働して主体的に活動に励んだことで、「体験を通して要注意外来植物の生育状況を知り、地域の課題解決に向けたきっかけを学ぶことができた」のです。この実績が自信となり、進路決定に向けて学びをステップアップさせていくのです。



3年生：面接試験の基礎・応用を体験し、実績をアピールする方法の習得と体験の必要性を再確認

就職及び大学等の一般推薦入学での試験に、面接試験は必ずあります。そのため、進路指導支援のエキスパートの方をお招きし、面接の基本をアイスブレイクを交えながら「きもおもしろく」何度もなんども繰り返し、ご指導いただきました。お蔭で、全生徒が面接の基本ポイントを明確に理解することができました。しかし、大事なことは学んだ基本をどのように応用していけるかです。応用編ビデオを見た後、分野別に分かれての基本面接を実際に受けたのですが、予想どおりの結果でした。この失敗が合格に繋がるのです。今回、自己アピールの仕方だけでなく、体験を伴う実績をどれだけ築けるかが勝負の分かれ目になることを再確認し、キャリアweekが終わった後の生徒に表情はやる気に満ち、全てで1ランクアップしているように感じました。



面接の基本指導



個人面接指導

クラブ活動紹介：☆男子バスケットボール部

北信高校総体は、3年生にとって高校3年間の集大成と言える大会です。初戦は5月6日の第1試合で、中野西高校と対戦しました。大会前の練習試合で選手4人が怪我をし、内1人は出場を断念せざるを得ませんでした。中野西高校の走力と選手層には敵いませんでしたが、出場した8人がコートに立てない選手の思いも背負い、最後まで全力でプレーしました。試合後の選手の表情からは、清々しい達成感が感じられました。



高校バスケットボールは9月にも3年生が出場可能な大会がありますが、今大会を最後に引退する選手もいます。本校のバスケ部も2年生に世代交代しました。新型コロナウイルスの影響で活動制限は続きますが、チーム一丸となって明るく頑張ります。